

ゆめみにゅーす



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 78
発行日 令和7年11月5日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030
飼育展示数 哺乳類:20種114点
鳥類:21種63点
爬虫類:10種95点
(令和7年10月末日現在)

最近の動物公園

長くて暑い夏がやっと終わり、ようやく涼しくなってきました。早くも来春の出産シーズンに向けて繁殖期に入ったり、気温が下がって少し活発になってきたり、夏毛から冬毛に変わり始めたり、動物たちも季節の移ろいをしっかり感じているようです。



レッサーパンダ・ケイコ



テンジクネズミ



ブラウンキツネザル・こしあん



ヤギ・セサミ



ロバ・バロン



ニホンアナグマ・きょうこ

年賀状コンクール中止のお知らせ

毎年動物公園の動物たちへあてた年賀状を募集し、コンクール形式で展示・一般公開を行っていましたが、今年度からコンクールを中止することになりました。

コンクールは無くなりますが、動物たちあての年賀状は職員がしっかり読み、楽しませていただきます。

また、動物公園は年末年始も変わらず無休で開園しておりますので、年の始めに是非動物たちの顔を見に来て良いお正月をお迎えいただければと思います。



＊公式 Twitter(X)はこちらから→



＊公式 Facebookはこちらから→



★園内工事についてお知らせ

駐輪場・ベビーカー置き場が新設されました。また、その他3か所の駐輪スペース（ホームページ、X、園内に掲示の地図参照）もご利用いただけます。トイレはパークセンター内・小動物コーナー・慰霊塔前広場にてご利用いただけます。

★ピックアップ動物★

ホンドタヌキ

哺乳綱 ネコ目 イヌ科



本州・四国・九州の里山などに生息しています。雑食で都市部にも適応していますが、車道で車に驚いて固まってしまう交通事故に遭ったり、野良猫への餌やり場に現れてネコ等との接触により感染症を発症したりするなど、深刻な問題も出ています。

春先に出産し、母親はしばしば子どもを連れて巣の引っ越しを行いますが、引っ越し中に藪や側溝などに隠した子どもが「捨てられている」と勘違いしてその場から誘拐され、動物園に持ち込まれることがあります。当園のげんまいはまさにそのパターンで、職員がミルクを与えて育てたものの野生に戻すことができなくなった個体です。

それから10年、高齢になり足の関節や腰の骨の変形などが見られ、白髪も増えてすっかり「おばあちゃん」な顔になりましたが、菓は好物の茹でサツマイモに仕込むとペロっと食べてくれるので投薬の間はかかりません。今年の地獄のような猛暑も乗り越え、最近ふわふわの冬毛に変わってきました。給餌時間前に職員を待ちきれずに扉の前で踏むステップや、リラックスしている時に切り株にお尻で座る姿、好きなものは物陰に隠れて食べたりペレットや肉などを部屋の隅に隠してあとで掘り返したりするタヌキならではの習性など、いろいろな仕草を見せてくれます。

獣医の日記

テンジクネズミの♀ウーロンは他の個体より目がくりくりと大きくちょっと飛び出しがちなのですが、それが災いしてか、先日目の表面が傷ついてしまいました。餌のチモシーなどが入ったのかもしれませんが。角膜が化膿して穴が開きかけ、結膜炎も起こしてしまいました。

それぞれの病変に適切な治療を施せばちゃんと治るものだ和理解しながらも、かなり重度だったので厳しい戦いになるかも…と覚悟しつつ治療を進めました。

投薬開始と同時に目を保護するために眼瞼を縫い合わせる手術を試みましたが、糸を自分で取ってしまい失敗。しかしながら点眼には協力的で、1日数回の点眼を大人しく（注意しないと聞き取れないくらい小さな声でぷうぷうと文句は言っていました）受けてくれるうちに、始めは変化が見られなかった患部が少しずつ、そしてある時点から急速に治癒。1ヶ月以上かかりましたが、今は少し痕が残る程度でほぼきれいになりました。しっかり治って退院していくのは、心から良かったと思える瞬間です。

余談ですが、目が飛び出しているゆえに垂らした目薬がそのままつるんと目からこぼれてしまいあれこれ苦慮したのも、治ったからこそ良い思い出になりそうです。

★動物たちの主な移動(令和7年8月1日～令和7年10月31日)★

アメリカアカリス(♀2死亡)、テンジクネズミ(♀4繁殖、♀2死亡)、マーコール(♂2♀1死亡)